

熊本県鉱工業指数の作成概要

1 目的

熊本県の鉱工業の動向を総合的に把握することを目的とします。

2 基準年次

平成27年（2015年）を基準年とします。

3 作成の範囲

日本標準産業分類の鉱業及び製造業を基礎とした産業の「生産指数（付加価値額ウェイト）」、「生産者出荷指数」及び「生産者製品在庫指数」について、原指数と季節調整済指数を作成しています。

なお、本書においては、「生産指数（付加価値額ウェイト）」を”生産（指数）”、「生産者出荷指数」を”出荷（指数）”、「生産者製品在庫指数」を”在庫（指数）”と単に呼んでいます。

4 分類

日本標準産業分類を基本とした「業種別分類」と、採用品目の用途により財別に格付けした「財別分類」の2通りの方法によります。

（参考）鉱工業指数の「財別分類」の定義

財別分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料として投入されない製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。
投資財	資本財と建設財の合計。
資本財	家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの。
建設財	建設用（建築工事用の資材及び建築物に対する内装品）と土木用（土木工事用の資材）の合計。
消費財	家計で購入される製品（耐久消費財と非耐久消費財の合計）。
耐久消費財	原則として想定耐用年数1年以上で比較的購入価格が高いもの。
非耐久消費財	原則として想定耐用年数1年未満又は比較的購入価格が低いもの。
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料として投入される製品。ただし、消費財を含み、建設財を除く。
鉱工業用生産財	鉱工業の生産工程に原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具等として再投入される製品。
その他用生産財	非鉱工業用の原材料、燃料、容器、消耗品及び企業消費財。

5 採用品目

「生産」及び「出荷」は131品目、「在庫」は82品目採用しています。

6 ウェイト

「生産指数」、「出荷指数」及び「在庫指数」のウェイトは、それぞれ、基準年次の「付加価値額」、「生産者出荷額」及び「生産者製品在庫額」の鉱工業に対する各品目の1万分比になっています。

7 作成の方法

指数の算式は、個別系列を基準時のウェイトで総合する基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）で行っており、算式は次のとおりです。

$$\text{個別指数} = \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times 100.0$$

$$\text{総合指数} = \frac{(\text{個別指数} \times \text{基準時個別ウェイト})\text{の和}}{\text{基準時個別ウェイトの総和}}$$

8 季節調整

季節調整とは、季節指数で原指数を割ることによって季節変動を除去した系列の指数にすることです。季節調整の方法は、米国センサス局の「X-12-ARIMA」を使用しています。

9 資料

経済産業省生産動態統計調査、熊本県生産動態統計調査、薬事工業生産動態統計調査（医薬品）及び既存の資料によります。

10 その他

(1) 統計表中等の記号は次によります。

「—」：該当がないもの

「0」：単位未満のもの

「▲」：負数（マイナス）のもの

「x」：統計の秘密保護の立場から、特に内容を秘匿したもの

(2) 数値の単位未満は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

(3) 季節調整済指数は時系列ごとに季節調整を行うため、合計と内訳は一致しない場合があります。

熊本県 企画振興部 交通政策・情報局
統計調査課 産業・教育統計班

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

電話：096-333-2178（直通）

F A X：096-384-7544